

「平成30年度に育児休業を取得した市職員（男性）ハインタビューを行いました！」

《職員プロフィール》

年齢：30代 家族構成：妻、長男（6歳）、次男（4歳）、長女（0歳）

1. いつごろ、どのくらいの期間取得しましたか

長女が生まれてから3週間が経過したころに、10日間取得しました。長女が生まれて1か月がたつころには妻の体調も安定してくるので、そのころに職場復帰しました。

2. なぜ、育児休業を取得しようと思いましたか

上の子の時は仕事が忙しく取得できず、残念な思いをしたこともあり、今回は子どもの成長を少しでも間近で感じたいことや、妻の負担を減らしたいと考えていたので、取得することにしました。

3. 育児休業中はどのように過ごしていましたか

授乳以外のことはやるようにしていました。日常の家事や長男と次男の保育園の送迎はもちろん、長女のおむつ交換、沐浴、寝かしつけなど。仕事より慌ただしく、忙しかったような……。また、妻が長男と次男を寝かせる時には、代わりにミルクをあげるなど長女の世話をすべて引き受け、妻の睡眠時間をできるだけ確保するようにしていました。

4. 育児休業を取得してよかったことや大変だったことを教えてください

すべてのことが長女のタイミングになるので、思いどおりにならないことは大変でしたが、それも新たな刺激であり、臨機応変に対応できるすべを学べたような気がします。

5. 男性の育児休業取得について、どう思いますか

男性も取得した方が良いと思います。今しかない子どもの成長を間近で見ることができ、妻と同時に取得することで、お互いに「ひとりじゃない」という安心感の中で育児ができ、それが妻の安定や子どもの安定につながると思います。男性の育児休業取得が増えることで、男女平等社会の実現も少しずつ進んでいくのではないのでしょうか。（次回は7月号に掲載します。）

